

雑誌編集に必要な技術が習得できます

雑誌編集入門コース

就職相談室登録資格

随時申込受付
詳細はウェブサイトをご覧ください

お問合せ
事務局 03-3263-5891

- *標準期間：6カ月／無料延長4カ月可(学習期間を短縮することも可能)
- *受講資格：高校卒業程度の学力を有する方

企画を立てる・取材して原稿を書く・レイアウトや校正をする——1冊の雑誌をつくるプロセスを体験します。実習をとおして、雑誌をつくる編集者のたのしさと充実感を味わえます。雑誌編集者として必要とされる知識と技能を簡潔明瞭に解説したテキストと教材で、初心者でも無理なく学習することができます。

修了後は、就職相談室に登録して本校に寄せられる出版界の求人情報を受け、就職活動ができます。

こんな方におすすめ
します

- 雑誌編集者をめざしている
- 出版社へ転職を希望している
- エディタースクールの求人を利用して出版社への就職を考えている
- ライター志望で、雑誌編集から仕事を始め実績を積みたい
- 編集全般を短期に学びたい(出版社の新人編集者・広報誌担当者)
- 個人で雑誌を発行するので、編集の基本的な技法を知りたい

カリキュラム

No.1

雑誌を調べる／テーマの発見と企画づくり

読者を引きつける最大のポイントは企画です。市販雑誌を読者ではなく作り手の立場で分析し、企画の立て方と内容構成の組み立て方を学びます。こうして、雑誌編集のプロセスを理解し、編集者の仕事の全体像を習得します。



学習は毎月「学習進行ノート」を読むことから始まり、学習のポイントと実習の手順を確認します。

No.2

取材文の書き方と原稿作成／座談会の準備と進行

取材企画は雑誌づくりの要です。取材企画の立案と依頼方法、取材現場での具体的な取材術と原稿の書き方を重点的に学びます。さらに紙面に変化と活気をもたらす座談会の進め方、原稿作成などについて習得します。



市販雑誌を分析します。どんな内容の企画があるか、どんなライターがいるか、1冊まるごと調べていきます。

No.3

原稿の執筆依頼の方法／レイアウトの基礎

原稿依頼の方法と原稿を受領した後の原稿整理の方法、写真やイラスト原稿の依頼や扱い方、そして雑誌のレイアウトの中心をなす、文字を組むために必要な印刷文字の知識とその指定技術を学びます。



実習では、インタビュー原稿のリライト(書き直し)を行い、取材の実習では写真の選択方法についても学習します。

No.4

原稿整理の実習と見出しのつけ方

記事内容を読者にアピールするための見出し(タイトル)やリードなどのさまざまな表現方法を学習し、さらに、雑誌紙面をデザインする基本となる枠組み(フォーマット)について理解を深め、読者をひきつける技術を学びます。



編集者に必要な原稿執筆依頼書の作成や、原稿整理では、原稿の表記の整理・内容の完成度を高める実習を行います。

No.5

ビジュアル演出とレイアウトの作成実習

総合的な誌面づくりを行う編集の最終段階です。文章・写真・イラストなどの原稿をどのようにレイアウトするか、基本にそって学習を進めます。写真と図版の指定方法も習得し、実際のレイアウトの作業手順に従って実習を行います。



雑誌の誌面の大切な要素である、見出し・リード・写真のキャプション(文章)をつくり、さらにデザインも学びます。

No.6

校正実習(初校から校了まで)／雑誌完成後の実務

編集の最終段階のチェック作業となる校正技術の基本を習得し、校正実習(初校・再校)を行います。さらに印刷・製本・紙などの知識を学び、雑誌の製作に掛かる費用とその明細を知って、雑誌編集の仕事の全体像についても理解を深めます。



校正実習では、文字原稿とともに、レイアウト用紙の指定どおりに組まれているかも、校正前と照合して確認します。

雑誌編集入門コース学費

合計	内訳	入学金	受講料	テキスト・編集用具
37,000円	内訳	3,000	34,000	広報・雑誌づくりのらくらく編集術 標準編集必修第2版 印刷文字スケールセット※1

- ※1 アメリカンポイント・DTPポイント・綴数の3枚/各525円
- *表示金額は税込です。
- *常設講座の受講歴のある方は入学金は不要です。
- *受講料に教材・テキスト・編集用具が含まれます。
- すでにお持ちの場合はお問合せください。